

近畿「子どもの水辺」交流会in京都2025



日時：令和7年11月9日(日)

9:50~16:05(9:20受付開始)

会場：集合 解散：歴彩館(※強雨のため)

雨の日プログラム

主催近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会

共催/近畿「子どもの水辺」交流協議会、きょうと生物多様性センター

協力/京都賀茂川漁業協同組合、京の川の恵みを活かす会、少年の水族館 Outdoor Aquarium、

(株)共立理化学研究所、琴引浜の鳴り砂を守る会



河川
基金

公益財団法人河川財団による
河川基金の助成を受けています。

および、この事業は(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構「琵琶湖・淀川こども水質保全活動助成」を受けて実施しています。

🍀 目的

近畿「子どもの水辺」交流会は、子どもたちの「水辺」への関心の向上、水辺活動の継続・広がりを推進する取組を進め、共に作り、守り、育てる「水辺づくり」に寄与することを目的としています。

🍀 京都開催のテーマ

” つながり ”

「参加者同士のつながり」

「流域でのつながり」

「世代を超えたつながり」

「そして、将来へつながるために、、、」



水辺活動の成果発表や意見交換会、水辺に関する体験プログラムを通じて、みんなで水辺の楽しさを分かち合いましょう！

**つながりのツールとしてホームページを今年つくりました！
ご活用下さい。**

<https://kinkikodomomizube.wixsite.com/mizube2025>



Instagram



@KODOMOKORYUKAI

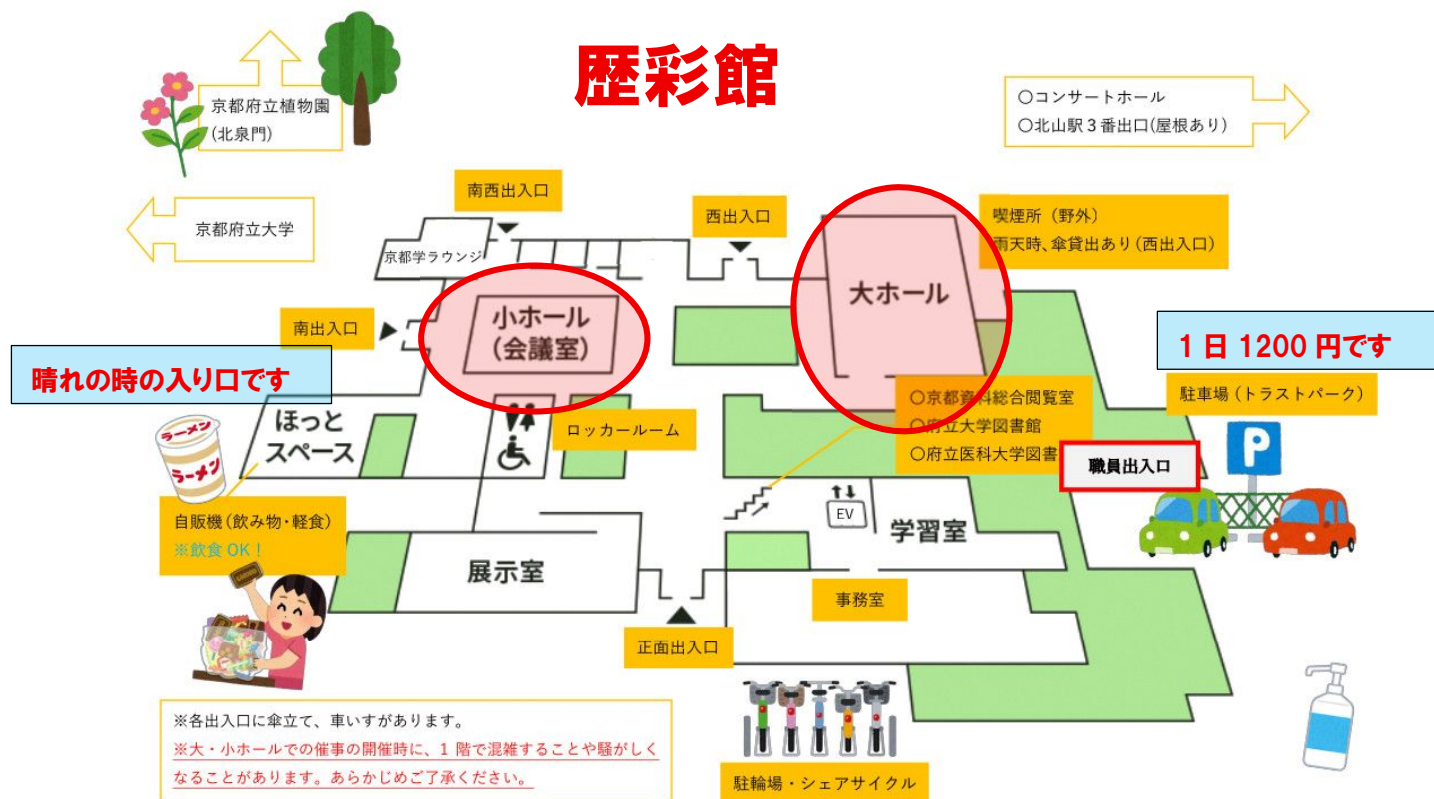
facebook



会場案内



集合場所(強雨時のため、歴史館に変更になりました。)



大ホール 定員400名 小ホール100名となっております

定員を超えての入場は出来ませんのでご注意下さい。

お願い&注意事項

○強雨のため、体験プログラム歴彩館での開催になります。

※~~雨天予報時は、前日までにどちらで開催するかを連絡しますが、前日判断が難しいときは当日の午前6時判断し、代表者にメールでお知らせします。~~※~~学校関係者等の方は、前日と当日つながる連絡先をご連絡下さい。~~

~~近畿「子どもの水辺」交流会協議会のfacebookでもお知らせします。(アプリがなくともweb環境があれば見られます。)~~

~~<https://www.facebook.com/pro-le.php?id=100064781373580>~~



○お弁当は持参でお願いします。

歴彩館の中で後半の発表場所、大ホールまたは小ホールで食べていただくことになります。

その際、フタの無い飲み物、汁物の食べ物、臭いの残る食べ物の持ち込みは禁止になっております。お気をつけて下さい。お弁当のゴミはお持ち帰りください。

また、体験プログラムの一つとして、京の川の恵みを活かす会から川魚の提供があります。人数分(引率者や保護者も含む)まとめて提供しますので、小分け出来もの、入れ物やハシの等の持参をお願いします。ゴリ(ヨシノボリ)の料理になり、小エビが混じることがありますのでエビアレルギーの方は、食さないようにお願い致します。

○服装について

子供さんは、発表会や交流会で床の上に座ってもらいます。床の上に座ってもよい服装でお越し下さい。体験プログラムで直接川の中に入るものではありませんが、川の水や濡れているもの、生き物を触ります。それも含めて、服装を選んで下さい。

○写真や動画撮影について

今回、京都新聞などの取材や近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会のホームやSNS、報告書等用に写真や動画撮影をします。それらに使用できない方は、受付で短冊のリボンをお渡しますので、上半身の一目で見えるところにつけるご協力をお願いします。

○学生さんと一緒に！

参加団体毎に高校生または大学生が一人つきます、一緒に交流会を楽しんで下さい。

○筆記用具を忘れないでね

書く機会がいくつか、あります。参加者の方は各自筆記具(鉛筆、ボールペン、水性ペンなど)をご持参ください。

○当日、発表資料をご持参下さる団体について

受付時に、受付で資料を一旦お預かりします。体験プログラムが終わりましたら受付で受け取り、昼からの会場までお持ち下さい。

○名札ケースは、最後に回収します。名札は出してお持ち帰り下さるか、今日新たに出来たお友達と交換していただいても結構です。

当日のタイムスケジュール

時間	プログラム	詳細
9:20	受付開始	鴨川の河川敷 強雨のため 歴彩館
9:50	開会式	大ホールに皆さん集合 開会宣言、実行委員長挨拶 記念撮影なし
10:00	参加団体、プログラムの紹介、注意点の説明	大ホール
10:20	体験プログラム 1	①川漁師体験 ②水槽づくり ③水質調査 ④鳴き砂体験 4つのうち2つを体験してもらいます
11:00	入れ替え及びトイレ休憩	
11:10	体験プログラム 2	
11:50	大ホールへ移動	まゆまろと対面 体験プログラム片付け 小ホール食事場所のセッティング
12:00	午後のプログラム説明 活かす会の活動紹介	大ホール
12:10	休憩・昼食	大ホール、小ホールで昼食 体験プログラム 3：川料理の試食 小ホールで提供
	休憩しながらお聞き下さい 12:30 情報提供 ※小ホールにも配信	歌「川はだれのもの？」紹介 ぽぽっぽくらぶ（10分） 3府県・行政情報紹介（各3分） 滋賀・奈良パネル展示
13:00	活動発表会	大ホール、小ホールにて、4つのグループに分かれ、発表7分、質疑・意見交換8分
14:00	グループ交流会	4つのグループで話し合い
14:45	移動、トイレ休憩	大ホールへの移動及びトイレ休憩
15:00	学生の活動紹介①②	立命館高校による活動発表（各7分） ①『汽水環境でのアクアポニックスの可能性』 ②『サンショウオの研究』
15:15	学生の活動紹介③	ivusa による活動発表（10分） 『水辺の侵略者?! オオバナミズキンバイを調査せよ!』

15:25	全体交流会	大ホールにて全体で話し合う
15:55	「川はだれのもの？」合唱	ぽぽっぽくらぶによる合唱
16:00	次回開催県挨拶	次回開催府県の挨拶
16:05	閉会	閉会挨拶、記念撮影

参加団体紹介(五十音順)

あおむしくらぶ

滋賀県

- テーマ:『これからの十禅寺川のために今僕らができること』
- アピールポイント:あおむしくらぶの活動の1つに“十禅寺川いきもの調査隊”があります。十禅寺川での生き物調査とゴミ拾いを通して、地域のみんなで十禅寺川に目を向け、環境やそこに棲んでいる生き物たちを守ることを目指しています。そして様々な体験に参加することで新しいことを学び、その学びを十禅寺川での活動に活かしています。子ども達の守りたい！知りたい！やってみたい！を大事に活動しています。
- 体験プログラム①: 「鴨川漁師体験」
- 体験プログラム②: 「鳴き砂体験」
- 交流会グループ : B 大ホール

生きものの調査隊

京都府

- テーマ:『鴨川の生き物を調べてみた』
- アピールポイント:わたしたちは、生きものが好きで、よく水生生物を採ったり食べたりしています。近畿子どもの水辺では、学校の友達と一緒に鴨川の生きものを採って調べることにしました。調べたあとは、料理をしてみんなで食べます。楽しく活動した様子を発表したいと思います。
- 体験プログラム①: 「水槽づくり体験」
- 体験プログラム②: 「水質調査体験」
- 交流会グループ : D 小ホール

京都市立開晴小中学校

京都府

2チーム参加

- テーマ:『白川の自然』
 - アピールポイント:探究学習で、生き物についての学習を進めています。夏休み明けに校区を流れる白川の生き物調査を実施しました。そこで知ったことやこれまでの探究学習と絡めながら、自分たちの考えを伝えます。
- | | Aチーム | Bチーム |
|------------|-----------|----------|
| ●体験プログラム①: | 「水槽づくり体験」 | 「鴨川漁師体験」 |
| ●体験プログラム②: | 「水質調査体験」 | 「鳴き砂体験」 |
| ●交流会グループ : | D 小ホール | B 大ホール |

NP0 法人蒲生野考現倶楽部 蒲生マックスクラブ わくわくチャレンジ隊

滋賀県

- テーマ:『琵琶湖にそそぐ日野川たんけん水の命の宝物探し』
- アピールポイント:私達は全長約47kmの日野川を探検しました。上流では冷たい水が好きな魚や多くの水生生物に出会い、中流では酷暑が続いたためか、魚の種類は以前と比べて少なくなり、心配になりました。下流では深くて川に入れないので釣りをして魚を調べたところ、イワトコナマズの幼魚が釣れたのにはびっくり。琵琶湖岸では地曳網により琵琶湖の魚に出会い、琵琶湖でのカヌー体験で、広い琵琶湖で水と一体になる楽しさを味わいました。
- 体験プログラム①: 「鳴き砂体験」
- 体験プログラム②: 「鴨川漁師体験」
- 交流会グループ: A 大ホール

ガールスカウト大阪府第21団

大阪府

- テーマ:『糸田川と石田川の水質検査結果と水生生物・川辺の植物』
- アピールポイント:私たちのホームグラウンド糸田川は吹田市の住宅地を流れ、水質はCODは5・6・7ppm、時には8以上となり、外来生物・植物が多い。高島市の吹田市自然の家を流れる石田川にはきれいな水に暮らす水生生物がいるがCODは6・7ppmを示した。どうしてだろう？
- 体験プログラム①: 「鴨川漁師体験」
- 体験プログラム②: 「鳴き砂体験」
- 交流会グループ: B 大ホール

木津川川ガキ団

京都府

- テーマ:『木津川川ガキ団「みんなで作る木津川イチ押し図鑑」

その3』

- アピールポイント:木津川は、京都府南部を流れ、淀川となり大阪湾にそそぐ川。川ガキ団は木津川とその支流で、楽しく安全に遊びながら、生き物や川について調査しています。木津川で見つけたメンバーのイチ推しを熱くプレゼンします。聞いてください！
- 体験プログラム①: 「鳴き砂体験」
- 体験プログラム②: 「鴨川漁師体験」
- 交流会グループ: A 大ホール

サウスヒルワイルドアニマルズ

大阪府

- テーマ:『日本のサンショウウオ』
- アピールポイント:四年生で初めて同じクラスになった、いきもの好きの二人。サンショウウオを探して冒険を重ねますが、意外な所で見つけることに。一生懸命、二人で調べた日本のサンショウウオの分布を発表します。
- 体験プログラム①: 「水槽づくり体験」
- 体験プログラム②: 「水質調査体験」
- 交流会グループ: D 小ホール

自然と文化の森協会・猪名川キッズクラブ

兵庫県

- テーマ:『猪名川・藻川を食べつくせ』
- アピールポイント:猪名川キッズクラブは、幼児から高校生まで 74人が参加しています。私たちは、尼崎市を流れる猪名川・藻川。田能(たのう)の農業公園や農地で活動しています。川で捕まえた魚やエビ。水路のザリガニやウシガエル、草原で捕まえたバッタ。堤防にはえているヨモギなどの草。みんなとっても美味しいです。キッズクラブの高校生が大きなコイもつかまえてくれました。今回は、猪名川・藻川を食べつくせというタイトルで発表します。
- 体験プログラム①: 「水槽づくり体験」
- 体験プログラム②: 「水質調査体験」
- 交流会グループ: B 大ホール

玉ーアクアリウム

兵庫県

- テーマ:『明石川と共に生きる～川は私たちで川り(変わり)、
私たちも川で川る(変わる)～』
- アピールポイント:私たちは、明石川で1年を通して真夏も真冬も1週間に1度以上はずっと調査を続けて外来種の駆除と絶滅危惧種の保護を行ってきたので、生き物でざわめく川に変わってきました。 私たちも小学生から大学生までの仲間たちと調査を続ける中で相手を思いやるやさしい気持ちが芽生え、調査を続ける中で更に興味を深めて環境や生物の分野に進む高校生や大学生が多く、私たちも変わりました。
- 体験プログラム①: 「鳴き砂体験」
- 体験プログラム②: 「鴨川漁師体験」
- 交流会グループ: A 大ホール

同志社小学校

京都府

2チーム参加

- テーマ:『岩倉川の生きものと自然環境』
- アピールポイント:同志社小学校のすぐ西側に流れる岩倉川は、幅7m全長4kmほどの短く狭い川ですが、多様な生き物が生態系バランスを保ってくらしています。同志社小学校では、2016年から岩倉川の生き物調査を行い、学校でカワムツやドジョウ、クサガメ、ドンコ、アカハライモリなどを飼育しています。Aチームは、2024年度と2025年度に行った生き物調査や飼育観察の結果をもとに、岩倉川の生き物を紹介し、多様な生態系を維持し続けるために必要な条件について考えたことを発表します。Bチームは、岩倉川の豊かな自然を守り、多様な生き物と人が共にくらす未来のために、私たちが取り組んでいることについて発表します。

Aチーム

Bチーム

- 体験プログラム①: 「水槽づくり体験」 「水質調査体験」
- 体験プログラム②: 「水質調査体験」 「水槽づくり体験」
- 交流会グループ: D 小ホール C 小ホール

奈良学園登美ヶ丘自然再生研究会

奈良県

- テーマ:『在来種と外来種についてドジョウを中心に』
- アピールポイント:在来種と外来種について、身近な生き物であるドジョウを中心に取り上げます。一見するとすべて同じに見えるドジョウも、実は今、外来種の影響で在来種がどんどん数を減らしています。知っているようで、実は知らないドジョウを通して、在来種と外来種について、また環境について興味を持っていただければと考えています。
- 体験プログラム①: 「水質調査体験」
- 体験プログラム②: 「水槽づくり体験」
- 交流会グループ: C 小ホール

認定 NP0 法人びわこ豊穡の郷

滋賀県

- テーマ:『ホタルを守ろうプロジェクト』&『世界湖沼会議inオーストラリア』
- アピールポイント:滋賀県守山市の図書館横を流れる、目田川で毎月、河川清掃活動をしている『目田レンジャー』です！生き物を守る川づくりを地域の人たちとしてしています。清掃活動や生き物調査を一緒に行うことで絆が深まり多くの仲間が参加してくれています。また、7月にオーストラリアで行われた世界湖沼会議に参加し、日々の活動を発表してきました。今回はこちらの様子も紹介します！
- 体験プログラム①: 「水質調査体験」
- 体験プログラム②: 「水槽づくり体験」
- 交流会グループ: C 小ホール

山内エコクラブ

滋賀県

- テーマ:『野洲川エコスクール』
- アピールポイント:私たちは、野洲川の上流域で活動しています。野洲川は琵琶湖に注ぐ全長64kmの一級河川で、私たちの活動拠点は甲賀市にある鈴鹿山麓の上流域です。この地域は川が非常に美しく、アカハライモリやシマドジョウ、スナヤツメといった希少種が生息しています。それでも中流域や下流域に行くとたくさんのゴミがあります。私たちは、川にゴミを捨てない、ゴミを増やさないといった活動と、川や海のプラスチックごみをアンブレラチャームにして、「ゴミを見直そう」といった活動をし、今年の6月には関西万博で啓発を行いました。
- 体験プログラム①: 「鳴き砂体験」
- 体験プログラム②: 「鴨川漁師体験」
- 交流会グループ: A 大ホール

NP0 法人やましろ里山の会

京都府

- テーマ:『京田辺市のコムラサキ』&『普賢寺川の水生昆虫』
- アピールポイント:京田辺市では沢山のコムラサキが生息しています。今回の発表ではK湿地などの生えているヤナギの木に産卵します。京田辺市では湿地に生えている柳の木の樹液を吸いに来るものから柳の木の産卵などを発表します。

普賢寺川には多種多様な水生昆虫が生息しています。水生昆虫が多種生息できる環境ということは、化学肥料などが周辺の水田や畑に使われていないと事です。しかし最近では外来生物を捕食し絶滅に追いやっています。私はこの環境をどうにかして変えようと思っています。私はこの発表で水生昆虫の保全活動の取組とどのような種類の水生昆虫が生息しているかを発表したいと思います。

- 体験プログラム①: 「水質調査体験」
- 体験プログラム②: 「水槽づくり体験」
- 交流会グループ: C 小ホール

体験プログラム①②

40分×2

強雨のため歴彩館での開催です

水辺に関する職業や活動を体験します。今年の体験プログラムは、より深く学べるよう時間を長くし、事前にお聞きしました第1希望、第2希望を参考に4つの中から2つ体験します。



↓ 受付は北大路橋の下になります。



「鴨川漁師体験」 講師 京都賀茂川漁業協同組合

仕事の内容、魅力、苦労話などの体験のお話し

長～いアユ竿を持ってみよう！

投網体験—参加者は陸上で行います。

講師が採った生き物の観察をします。

※強雨天時会場は、大ホールになります。投網は投げません。

「水槽づくり体験」 講師 少年の水族館 Outdoor Aquarium

幼少期の体験、YouTuberの仕事の紹介

水槽を立ち上げながら撮影、編集、機材の説明

参加者が、3、4名ずつに実際にプラ水槽などを使って立ち上げ、

引率者のスマホ等を使って撮影します。

※水槽用の生き物は事前に採取して採取しておきます。

※強雨天時会場は、大ホールになります。個別の水槽づくりはありません。

「水質調査体験」 講師 (株)共立理化学研究所

“良い水と悪い水とは？”

鴨川の水、ミネラルウォーター、食器洗いに使った水を使って良い水と

悪い水を調べます(pH、アンモニウムの測定)

レポートもあります。また、体験出来なかったみんなにも楽しみが、

※強雨天時会場は、小ホールになります。

「鳴き砂体験」 講師 琴引浜の鳴り砂を守る会

琴引き浜の紹介、鳴き砂の原理

鳴き砂体験一鳴く砂、鳴かなくなる砂、砂の音階

微少貝を観察しよう

※強雨天時会場は、小ホールになります。

体験プログラム③ 小ホール 休み時間に順番に起こしてください

「川魚料理の試食」 講師 京の川の恵みを活かす会

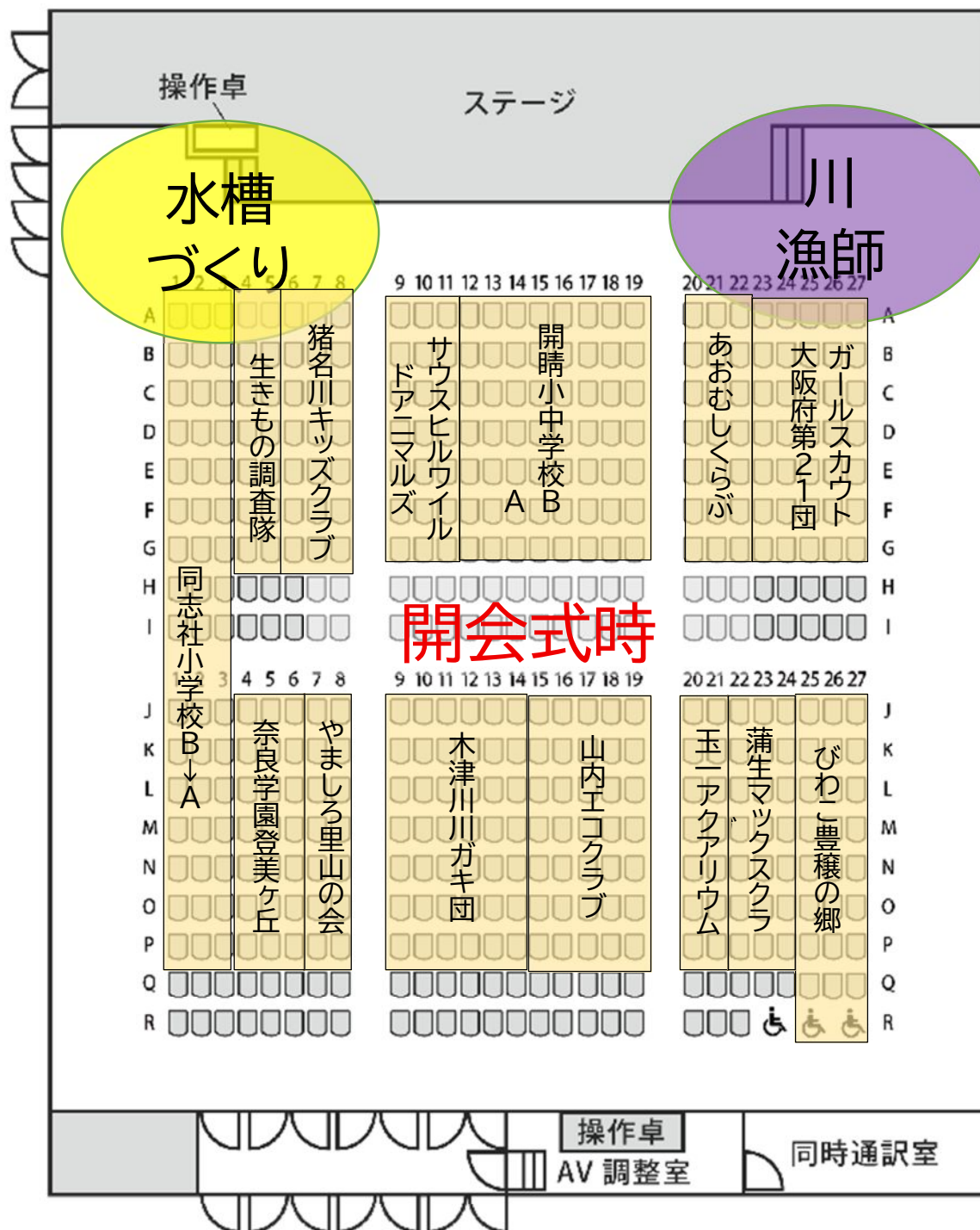
京都市都心部(における天然溯上のアユ釣りの復活や、鴨川をはじめとする京の川で育ったアユ、ハエ、ゴリ等の川床料理等での利用拡大を目指されています。今回は、ゴリ(ヨシノボリ)料理を試食していただきます。保護者分を含めてまとめてお渡します。お箸や小分けにするものをご準備下さい。

※今回、参加者分の京都産のゴリの調達が難しく、琵琶湖産を使用しています。

※ゴリの中に小エビが混じることがあります。エビアレルギーの方は、食さないようお願い致します。

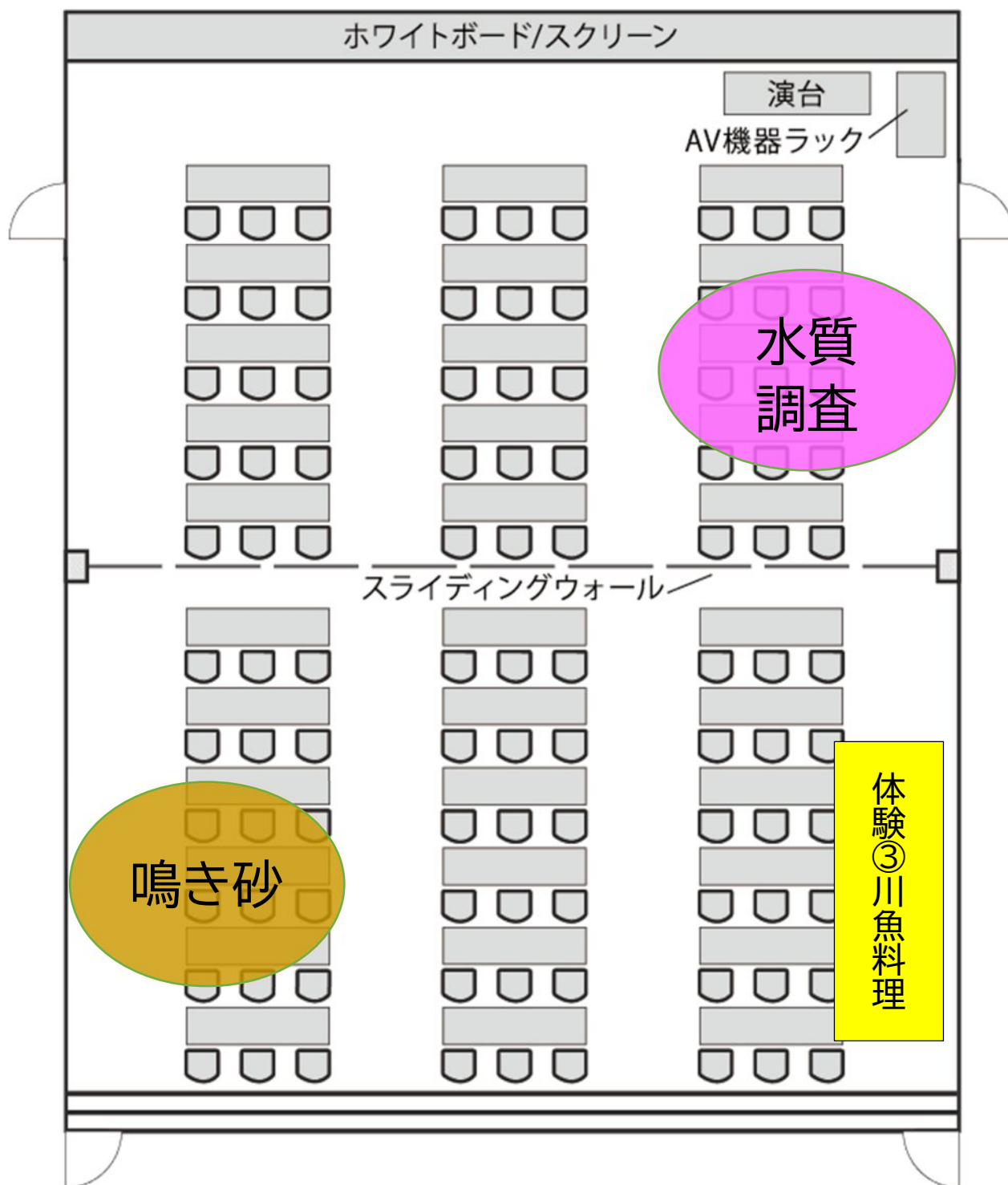
開会式&体験プログラム時

大ホール



※お願い 保護者、引率者の方は、**ゆずり合って**体験プログラムご観覧下さい。

小ホール

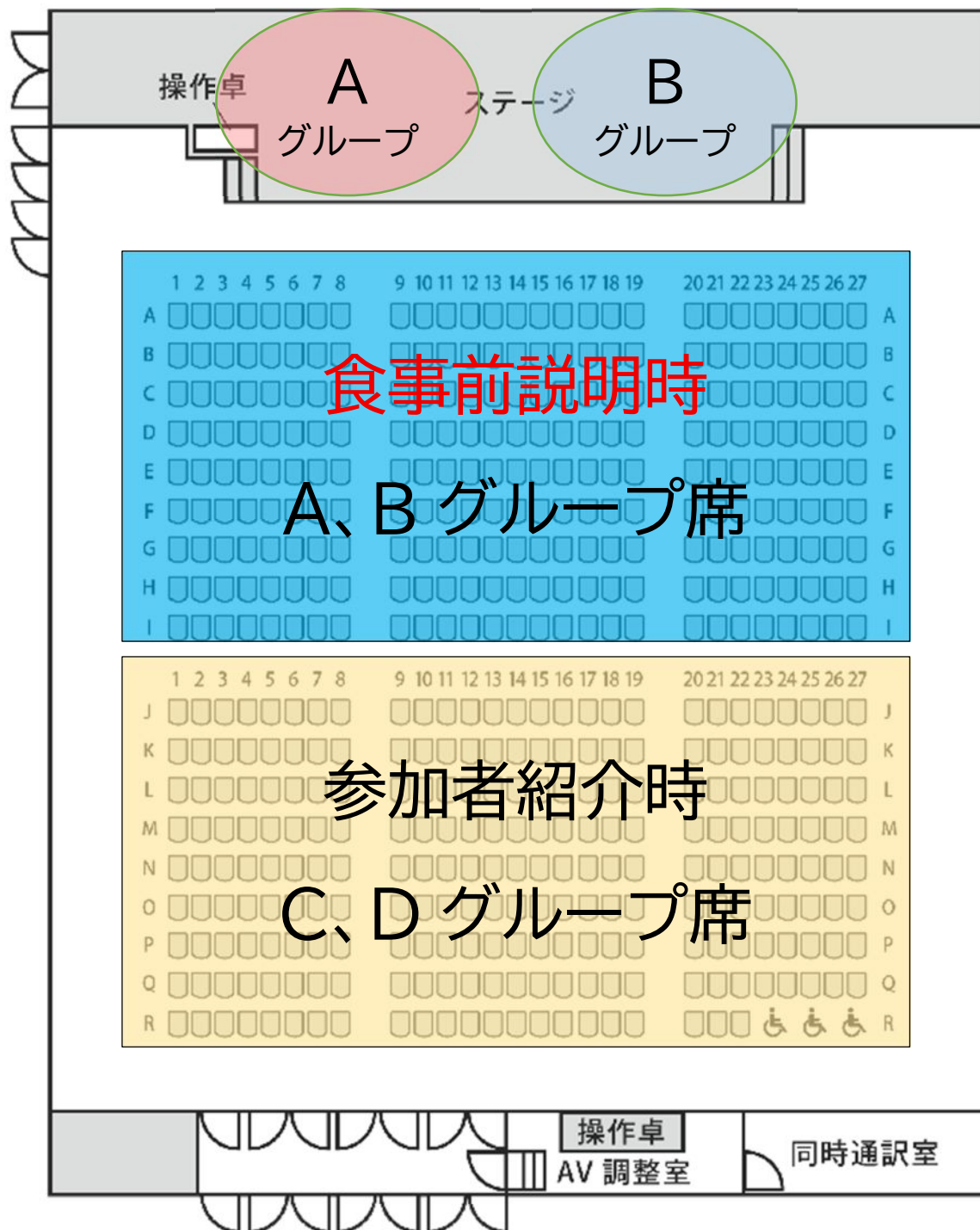


※ブルーシートを敷いていますが、水や砂をなるべくこぼさないように気をつけて下さい。

※定員(100名)の関係で、お申し込みより人数が増えすぎると入場を制限することがあります。

活動発表会 & グループ交流会

大ホール

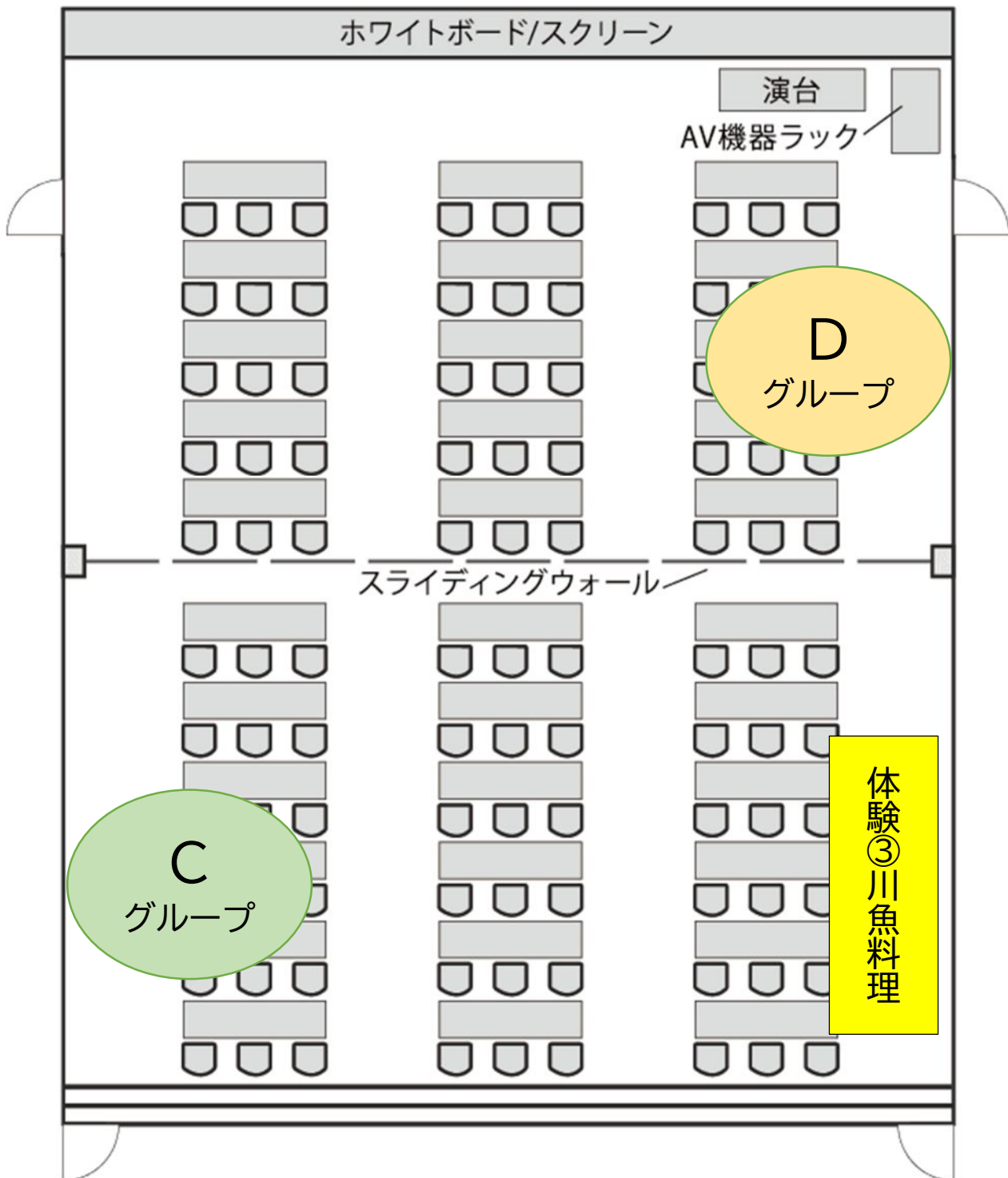


発表順

	Aグループ	Bグループ
1	玉一アクアリウム	ガールスカウト大阪府第21団
2	蒲生マックスクラブ	猪名川キッズクラブ
3	木津川川ガキ団	開晴小中学校 Bチーム
4	山内エコクラブ	あおむしくらぶ

※お願い 保護者、引率者の方は、自団体発表時以外はステージ下でご観覧下さい。

小ホール



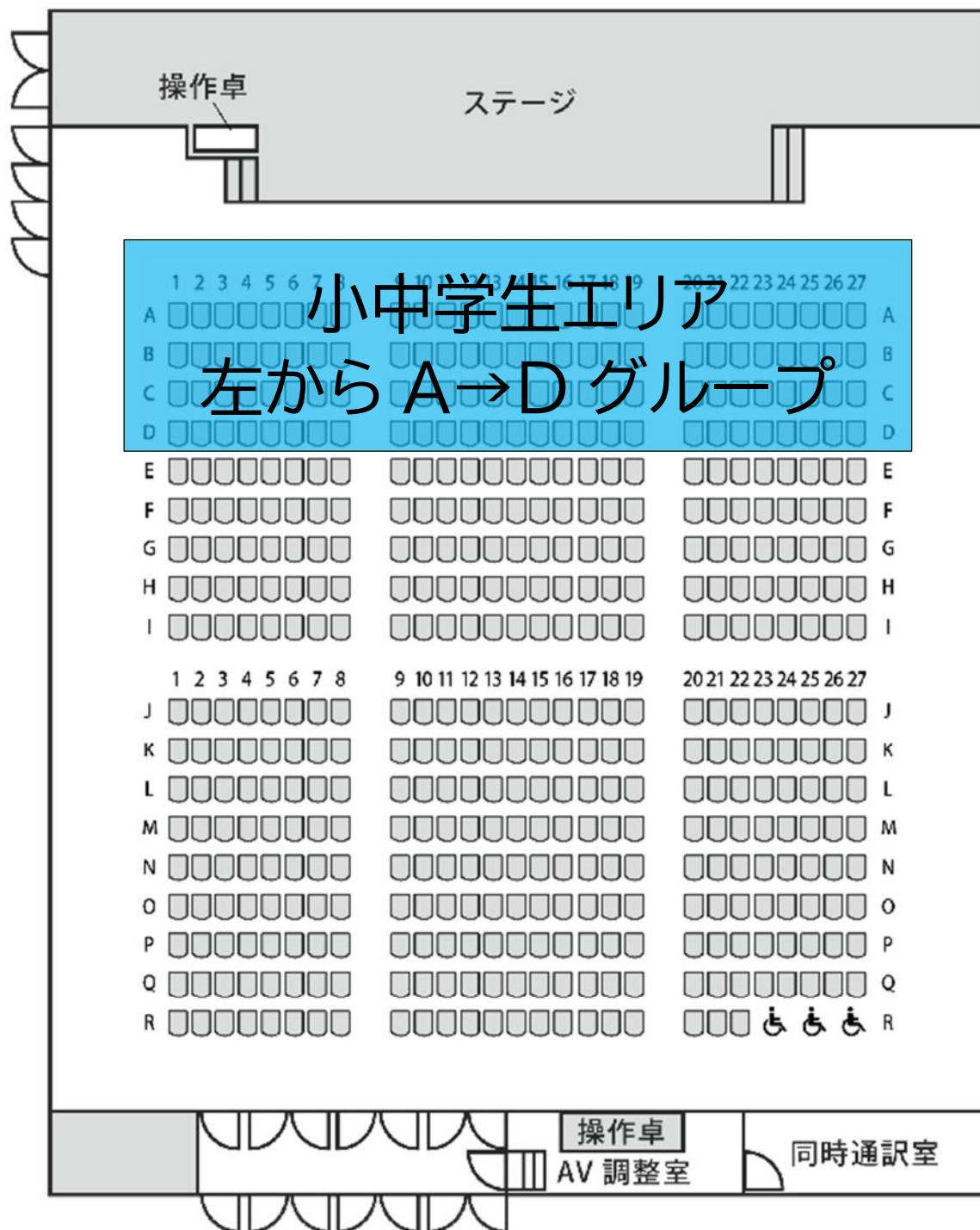
発表順

	Cグループ	Dグループ
1	同志社小学校 Bチーム	開晴小中学校 Aチーム
2	奈良学園登美ヶ丘	サウスヒルワイルドアニマルズ
3	やましろ里山の会	生きもの調査隊
4	びわこ豊穰の郷	同志社小学校 Aチーム

※定員(100名)の関係で、お申し込みより人数が増えすぎると入場を制限することがあります。

全体交流会

大ホール



※グループ別交流会が終了後、ステージ側から前4列は、
子供たちのために開けて下さい。

※各グループのまとめを発表してくれる子ども達は最前列に
座って下さい。

学生活動発表

小中学生の次の活動のステップの参考に、高校生と大学生の活動を紹介してもらいます。

立命館高校

- テーマ①:『汽水環境でのアクアポニックスの可能性』
- テーマ②:『サンショウオの研究』

NPO 法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)

- テーマ:
『水辺の侵略者!?オオバナミズキンバイを調査せよ!』

SNSでの発信

今回、当会の様子を学生さんの協力で、Instagram 等を使って発信します。

画像の公開が難しい方は、事前にお知らせ下さい。リボンの短冊を配りますので見えるところに着けて下さい。



「川はだれのもの？」 合唱

最後に、今日1日参加して下さったみなさまと、川の歌を通じて1つになりくて、ぽぽっぽクラブさんの演奏とリードに合わせて、是非一緒に歌いましょう！

「川はだれのもの？」 作詞・作曲：みなみらんぼう

山にふった 雨のしずく 岩をすべり落ちて
やがて 細い川となった 川は森で生まれた
川はだれのもの？ 住んでる 魚のものかしら？
それとも 雨のものかな？ 森のものだろうか？

村をくんだり 町を流れ 川は海をめざす
鳥があそぶ にじがかかる 人の希望 もえ立つ
川はだれのもの？ 岸辺の 緑のものかしら？
それとも 鳥のものかな？ 人のものだろうか？

いいえ どの川も だれのものでも ありません
生きてる すべてのものです 川はみんなのもの

最後に

この会は、学生、講師の方、交流会実行委員、今年度交流会運営委員、近畿二府四県の行政職員、看護師、約80名で運営しております。

参加者は、14団体16チーム。小学生83名(一部未就学含む)、中学生19名。

保護者、引率者含めると総勢186名のご参加をいただきます。(11/2現在)

『近畿「子どもの水辺」交流会in京都2025』を開催出来ることに、全てのみなさまに感謝申し上げます。

近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会

会長 美濃原 弥恵

幹事 中辻 英克